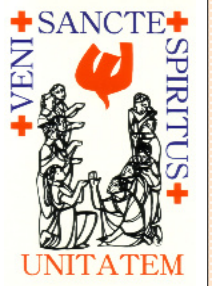


2023年7月16日 (第214号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
木々、花々、草々は、
静けさのうちに成長し
ます。
星々、太陽、月は、静
けさのうちに動いてい
ます。
静けさは、わたしたち
に、物事に対する新し
い見方を与えてくれま
す。

## 子どもと共に育つ モンテッソーリ教育を通して

乾 盛夫 神父

自分でできることをさせて
くれる環境が、子どもにとっ
て一番自由で幸せみたいです。
自分で体験することを土台に
していることが、その子にとっ
て一番本物の体験になります。
外の力ではなく、子ども自身
の意識で広がっていく勉強の
仕方、そして、わかって適応
していく、それを私は自立だ
と思っています。自分が判断
して動けるようになるし、そ
うなれることは子どもにとっ
て喜びなんです。自分ができ
ることを他者に活かすことで、
友だちや家族がそこにいるこ
とが、欠かせない大切なこと
だとわかってきます。人に役
立つという、素晴らしい人間
の本質的な力が意識されます。
この意識が、子どもの自立の
根っこにあって、自分のため
だけではなく、人に役立つと
うという素晴らしい自由を子
どもは自分の中に感じます。
そのことを通して集団の中

入っていきける自分を意識する
ようになると、不思議なこと
に、自分と他の子を比べませ
ん。比べられない自分をしっ
かり意識して克服し、見つけ
ていきます。これは素晴らしい
年齢混合の環境での子ども
の育ちです。
それを周りにいる大人が認
めれば、その子どもにとって
鬼に金棒です。残念ながら、
なかなか大人はそれを認めた
がりません。小さいからとい
うことで、あるいは初めて体
験する子どもたちに、大人は
してやりたい思いにかられ、
「言われたとおりにしなさい」
とか「こういう風にやりなさい」とか、つい言ってしま
います。そこで発する言葉や必
要な動作を、子どもがわかる
ようにしてさえすれば心配あ
りません。これが大人の子ど
もへの大事な寄り添い方です。
そしてその子どもたちは、相
手を大事にする人になってい
きます。困っている
子がいたら見守りま
すが、あえて不必要
なことはせず、でき
るよう見守る案内
役となり友だちとなっ
ていきます。



乾神父 (昨年の誕生日に)

立つ自由を奪われる
ことに、いつもある
種の不満を持っています。大
人が少しでも早くそのことに
気づけば、子どもは自分を認
めてもらったと感じ、大事に
されていることがわかります。
それは、好きなものを何でも
くれる、というのではなく、
自分が人に役立つという体験
をさせてくれる、そういう受
容に対する感謝です。そのよ
うな環境に身を置けなら、子
どもはどんどん社会性を身に
つけていき、人やモノを大事
にしていけます。
創られた地球が、その本来
の美りを得るために、私たち
も子どもと共に子どもを通し
て育つことを深く味わいたい
と思います。私たちは、その
地球の美りが豊かになるよう
に望みながらも、一方では科
学の進歩と共に、破壊ももた
らしてしまいます。私たちは
人類として地球を託されたこ
とを忘れてはいけません。で
きれば、しなければならな
いことは、それを子どもと一緒
に唱えていくことです。私た
ちは自分で育っているようで、
実は色々な生き物の生命の恵
みで育まれています。私たち
は家庭家族、人類家族、そし
て地球家族の中で、特に子ど
もと一緒に育つという特別な
恵みを頂いています。幼年期
から少年期、青年期へと、良

いものになろうとするこの子
どもの心に触れられる私たち
は、大きな大きなお恵み、特
権でしょう。そのことを味わ
っていくのが、私たちモンテッ
ソーリ教育の土台です。土台
はそこにあって、幼稚園、保
育園、学校ではありません。
子どもと共に育つという、地
球上での人類の役割を十二分
に実らせていく、その大切な
大切な使命を、私たちは人類
という名前において預かって
います。預かっているものであ
って、ちゃんと返さなくてはな
りません。誰にでしょうか。
生命の創り主です。その創り
主が私たちに全てをお任せに
なったように、全ての生き物
は、共に生命を喜ぶ生命に育
つことを、私たちは探し求め
なくてはなりません。それが
できるようになれば、きつと
地上はもっともっと平和で、
その大きな喜びが毎日与えら
れるでしょう。それは、生ま
れてきて良かった、ここに
いて良かったという、心からの
喜びが日々与えられていくこ
とになります。それは、小さ
い子ども、あるいは小さくさ
れた人々と共に働くことによっ
て成り立つ人類の文化でもあ
るのです。「小さいから」で
はなく、純粹だから、多くを
持たないから、本物を求める
から、彼らと共に歩むことが
私たちに託されている秘訣、
地球を平和に作り変える秘訣
です。それを目指し、手を繋
いで一緒に歩んで参りたいと
思っています。

## ルカ助祭 叙階おめでとうございます



5月13日、ドミニコ会のルカ・ジョン・ソクソン師
(LUKE JEON SHOK HOON OP、38歳)
の助祭叙階式が、カトリック松山教会で使徒ヨハネ誦訪樂
治郎名誉司教により執り行われました。
ルカ助祭は、韓国釜山出身です。経歴は・・・
2009~2013 釜山教区神学生
哲学、神学を学ぶ
2015 ドミニコ会ロザリオ管区に入る
2018 有期誓願を立てる
2020 マカオの聖ヨセフ大学にて修士号(教育学)を
取得する
2021 終生誓願を立てる
2023. 5. 13 助祭に叙階される



ルカ助祭は、現在約3週
間の予定で、ベトナムでの
"Common Study program"に
参加しておられます。



### はばたき

『井の中の蛙大海を知らず』と
古いことわざがある様に、私も受
洗して50年以上を過ぎても、いま
だに迷える子羊です。受洗後、
機会ある毎に日本各地の教会を訪
れて、当時自分が所属する教会と
比較し、夫々の違いをみて素晴ら
しさを発見してました。
今から約25年前と翌年にスベ
イオンを旅行した時、観光旅行よりほ
とんどが教会巡りでした。マド
リード、グラナダ、バルセロナ、
トレド、アビラ、バレンシア、レ
オン、セゴビア、ブルゴス、サン
チャゴ・デ・コンポステーラ、サラ
マンカ、サンセバスチャン、パン
ブローナと大聖堂や大きな修道院
を観て、途中でフランススコ・サ
ビエルのお城や地方の街や教会へ
行き、またバルセロナに行った
時、近くにモンセラートという巨
岩の塊になった山の頂上に、大き
な美しい教会がありました。アン
トニオ・ガウディがサクラタ
ファミリアを作る時の設計のヒン
トにされたとか、余りのスケール
の大きさと美しさに感動を覚えま
した。
流石スペイン！日本の教会と雰
囲気や佇まいが全然違い、そのス
ケールや年代の違いというか教会
の歴史が永く、その深さに驚
きました。聖堂の中に足を踏み入
れた時の空気の違いを肌で感じ、
信仰の弱い私の心を奮立たされ
たような気持ちになりました。古
い街ではローマ時代の建物の跡
が、現在でも一部が見られるよう
にカラス張りにして遺跡を残し、
その上に建物を建造する発想がそ
の街全体の歴史を感じました。
想像を超えた桁違いの大きさ、
古き故に他の宗教と文化が入り混
じり、余計に荘厳さが増されてい
く。各地を熱心に巡礼したお陰で
でしょうか？帰国してから教会に対
する見方が変わりました。やはり
中身は我が心持ちだ・・・。ま
た、違う国の教会を観てみたいで
す。



### カトリック幼稚園めぐり 東讃ブロック 神の愛に包まれて

今号から地区ごとに幼稚園を紹介し、あわせてチャプレンの一言を掲載します。最初は東讃ブロックの幼稚園紹介です。

東讃ブロックには桜町聖母幼稚園、高松聖母幼稚園、長尾聖母幼稚園、そして聖母被昇天修道会のマリア幼稚園があります。

桜町聖母幼稚園は、1952年(昭和27年)に故田中英吉神父様によって開園しました。当初は70名程度の園児でしたが、隣にカトリック桜町教会が建設されたり、園児数の増加によって園舎を増築したりして、現在のような園風景になっています。

本園は、教育方針として次の3つを掲げています。「キリスト教の教育理念を根底に据え、一人一人の園児を『神から託された聖なる者』として大切に育てる中で、思いやりの心を育てる。」



「モンテッソーリ教育を通して、豊かな人格が形成されるように支援や援助を行う。」

また、様々な行事で聖堂に集まったときは、森神父様が神様のお話をしてくださり、神様が自分たちのすぐ近くにいらっしゃること、優しいまなざしで私たちを見てくれていること、困ったときは耳元でそっとささやいてくれていることを子どもたちは実感しています。

高松聖母幼稚園では、全園児が聖堂訪問し、チャプレンの高山神父様から神さまのお話を聞くところから、一週間がスタートします。お話や歌を聞きながら、「自分が神さまから愛されているかけがえ

のない存在である」「あなたは、あなたのままでいい」と存在をまるごと受け入れてもらっている喜びを、じつくりと味わいます。今では、戸外で爽やかな風に吹かれながら、くきみは愛されるため生まれてきみの生涯は 愛で満ちている」と声を合わせて歌うことも、日常の姿になっています。

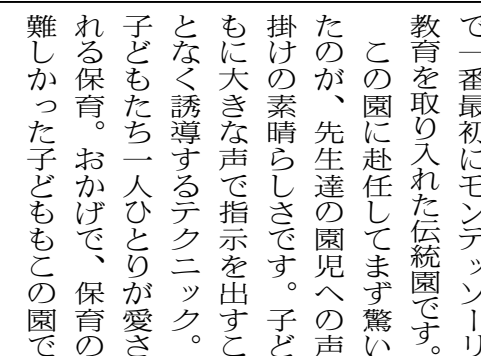


また本園には、3代続けて通ってくださる方もいらっしゃり、最初に出会う学校に本園を選んでくださった方々が、幸せでいられるように、教職員一人ひとりが、それぞれが持つ良さを生かし合いながら、お互いを尊重し、人と人が温かくつながる日々の営みを大切にしながら保育を行っています。

一人として取り残さず、一人ひとりが認められ愛される幼稚園を目指し、祈る毎日です。

長尾聖母幼稚園とモンテッソーリ教育  
故山下神父様はじめ、多くの神父様たちが築き上げてこられた長尾聖母幼稚園。四国で一番最初にモンテッソーリ教育を取り入れた伝統園です。この園に赴任してまず驚いたのが、先生達の園児への声掛けの素晴らしさです。子どもに大きな声で指示を出すことなく誘導するテクニック。子どもたち一人ひとりが愛される保育。おかげで、保育の難しかった子どももこの園で

過ぎすうちにみるみる変わっていきまます。モンテッソーリ教育の素晴らしさを痛感いたします。



今後もチャプレン高山神父様の協力も頂きながら、この地球の平和を担っていきける人材を育てていきたいと思ひます。

マリア幼稚園は、香川県の高松市にあり、聖母被昇天修道会が母体となって設置した幼稚園です。

自然の恵みや人の優しさに抱かれて、基本的な生活態度と実践力を身につけ、優しさや思いやりの気持ちを育むことに力を注いでいます。

縦割り保育を導入し、年齢の違う子どもたちが同じクラスで活動しています。年下の子どもは、年上の子どもとの活動を見て学び、憧れを抱き、年上の子どもは、年下の子ども

ものお世話をし、自信を持って社会性と協調性を自ら学びます。クラスの中で自然と役割「社会」が生まれます。

またモンテッソーリ教育法を取り入れ、午前中には教具を使った活動(おしごと)をしています。お昼は自然給食とし、シスターと子どもたちが育てた野菜も使い、自園で発酵させた納豆や発芽玄米を取り入れ、体に優しい自園給食を提供しています。

子どもたちが「明日も幼稚園に行きたい!」と思ってももらえるように、「先生たちが保育を楽しむ」を目標に掲げ、ひとりひとりの心を大切に育てる保育にシスターも一緒に頑張って取り組んでいます。

〜チャプレンから〜  
東讃ブロックでは高山徹神父(長尾聖母と高松聖母)と、森一幸神父(桜町聖母)がチャプレンを担当しています。

長尾聖母幼稚園には、木曜日に定例訪問します。園長先生が聖堂で子供達に紙芝居を読まれた後、その日の物語についてチャプレンから子供達



に質問しながら大切なメッセージをまとめ、お祈り・祝福をします。空き時間は子供達と遊びます。先生方に聖書のお話をする時間、幼稚園行事での保護者の方々との交流、放課後児童クラブでの卒園児の会いと学びをいただいた5年間でした。これからも、チャプレンとして、子供達・先生方・保護者の方々と一緒に、カトリック幼稚園を大切にしたいと思っております。

森神父から  
桜町聖母幼稚園では、月曜日と木曜日に登園されるお子

と遊びます。月に一度は、先生方の聖書クラスとお母さん方のクラス(子育てサロン)をさせて頂いています。私は、叙階直後からチャプレンとして園に関わらせていただきました。たくさんのお出迎えをありがとうございます。元気に登園するお子さんや気分がなかなか優れないのか、泣き崩れるお子さんもたまにいらっしゃる様子を見て、親御様や先生方のご奉仕には頭が下がる思いです。

(丸亀教会ザンドロ・ヴェントウラドさんから、次ページ2段目に和訳)  
Zandro Venturado  
Hello evryone! My name is Zandro Venturado, married and a father of two. I came from Philippines and has been living in Japan for almost 22 years now. Ever since I came here I almost live most of the years in Marugame City. Prior to my permanent residence I came in Japan in a very young age and single. I worked in a lumber company with my mother and some relatives. Presently, I am working as a welder in a shipbuilding company, then I got married to a Fillipina and we have our two children. The first was born in the Philippines and the second child was born in Japan. Since the beginning of my residence here, I've been going to Marugame Catholic Church and have been an active member of our church. It is always, in fact, my pleasure to organize some Filipinos to attend Filipino Masses even though it is seldom to happen. I also let my children have their Baptismal, First Communion and Confirmation in the Church. My son is now an altar boy to assist the presiding Priest on masses. Sometimes, we had a hard time to go to the church because of some unavoidable events, busy schedule and work loads. My wife and I were classmates way back elementary and high school. During our students days, we were in a Catholic school governed by RVM sisters ( Religious of the Virgin Mary). We've been taught and had studied Christianity values and Catholic ways even up to college. Being a Catholic has been in our life pattern and has been a foundation of our being. To this moment, I am thinking to stay in Japan even my family and I will age. By then, I would still bring them with me to the Church because I know that a family centered in God will become strong, will have sympathy to others, loving and forgiving members of the Church.



### 外国出身の信徒とともに

外国人信徒の小教区や地区での活動、日本の教会に對する思い、日本での生活のことなどを特集しました。

#### 丸亀教会

##### ベトナムから

丸亀カトリック教会で活動しているベトナム人です。日本に行く前は皆さんの事は全然知らないですが、日本で皆さんに出会えたのも全部カトリック教会のお陰だと思えます。

##### 実家を離れて、家族と離れて、友達とも離れて日本の国に来た時は、最初は不安がいっぱいでした。でも、自分たちの行くところにはカトリック教会があって良かったと思います。

日本に来てからのほとんどの期間を丸亀市に住んでいます。永住権を取得する前、私は若くして日本にやってきて、独身でした。母や親戚と一緒に木材会社で働き、現在は造船会社で溶接工として働いています。その後、フィリピン女性と結婚し、2人の子供がいます。1人目はフィリピンで生まれ、2人目は日本で生まれました。

ここに住み始めた当初から、私は丸亀カトリック教会に通い、積極的に教会のメンバーとして活動してきました。フィリピン語のミサはなかなかありませんが、それに参加するためにフィリピン人をまとめるのは、私の喜びでもありません。



丸亀教会ベトナム青年

### 八幡浜教会 ベトナム研修生の送別会

愛媛地区八幡浜教会では、ベトナムからの技能実習生が毎週ミサに参加し、ミサの準備を手伝っている。6月からは閉祭の歌をベトナム語聖歌とし、ベトナム実習生の伴奏で歌っている。男性の実習生は信者さんの支援を受けて、自動車の仮免許に合格した。

このようなかかわりをもっている実習生が、今年8月、12月と帰国する。既に母国に3人の子供がいる実習生は、子供たちに会えるのを楽しみにしている。コロナ禍で様々な活動に制限を受けたために日本文化の体験も少なかった。そこで実習生らが和服を体験したいとのことで、八幡浜教会信者宅で「浴衣を着る」体験を行った。和服姿で石焼き窯焼きのピザを作り、聖霊降臨のミサを誹訪名誉司

##### フィリピンから

皆さん、こんにちは！私はザンドロ・ウェントゥラド。結婚しており、2児の父です。フィリピンの出身で、日本に住んで22年目になります。

私の子供たちには教会で洗礼、初聖体、堅信を受けさせています。息子は今、ミサで司式神父を補佐する侍者をしています。

やむを得ない事情や忙しさ、仕事の忙しさなどで、なかなか教会に行くことができないこともありました。

私と妻は、小学校と高校の同級生でした。学生時代、私たちはRVM (Religious of the Virgin Mary) のシスターが運営するカトリック系の学校に通っていました。



上：誹訪司教司式ミサ



下：手作りのピザでにっこり

この15年間ほどでは数名が実習終了帰国後に再来日することがあり、日本人のコミュニティとの連携・交流が実を結びつつあるといえる。誹訪名誉司教は、説教の中で、ベトナム実習生に向かって、「あなたたちは仕事だけのために来日したのではない、キリストと共に来たのです」とのべ、励ましている。日本人だけの小さな共同体が、新たな姿になっているといえる。

私たちは大学まで、キリスト教の価値観やカトリックのあり方を教えられ、学んできました。カトリック教徒であることは、私たちの生活の中になっっています。

##### イタリアから

皆さん、こんにちは！私は15年前にイタリアから来ました、カンポダルオルト・アンドレアと申します。

現在48歳、日本人の妻と結婚してからずっと香川県丸亀市に住んでいます。

子供は女の子が2人で、13歳と11歳です。去年、娘たちは丸亀教会で初聖体を受けました。

### 八幡浜教会ベトナム研修生の手記

Dinh Thi Nga (ディン・ティ・ンガー) さん (下写真の中央)

(日本語で) こんにちは。私はンガーといひます。今まで、実習生として日本に働いています。



浴衣を着たベトナム研修生

初めて日本に行ったとき、日本語にしても仕事にしても生活にしていななかつたので、とても困っていただけ、みんなのおかげで私は楽しくなりました。

日本で仕事する時間以外の私は、社長さんに松山城とか、花見とか花火とか、いろいろな場所に連れて行ってもらった、本当に私は運がいい人だと思います。もっとも幸せなことは教会に行きました。教会で神父さんとおじさん、おばさんたちとほかのベトナム人と一緒にmi-saをおこないます。教会に行くたびに疲れが取れるし、悩みも消えるし、楽しくなっていると感ずいます。教会でみんなが一つになって、家族みたいと思ひます。神父さんとおじさん、おばさんは両親という、私たちは子供です。

教会で初めて浴衣を着て、ピザを作ってもらった。いろいろな記念ができました。そろそろ3年間の実習生期間が終わります。ベトナムに帰国することになっているんだけど、3年間、いろいろお世話になりました。

みなさんとたくさん思い出ができてほんとによかったです。ベトナムに帰国してもみなさんのことをぜったいにわすれないです。いまから、みなさんの健康と活躍を祈ります。みなさん、お疲れさまでした。まことにありがとうございました。

Mai Thanh Uyen (マイ・ティタン・エン) さん (左写真の向かって右)

Xin chào tất cả mọi người. Minh là Mai Thanh Uyen đến từ Việt Nam Hiện tại mình đang sống và làm việc tại tỉnh Ehime của Nhật Bản. Tháng 8 năm nay mình sẽ về Việt Nam kết thúc hành trình 5 năm của mình nơi xứ người. 5 năm qua mình đã học được rất nhiều điều hay và mới mẻ qua việc khám phá đất nước và con người Nhật Bản. Mình biết thêm về một nền văn hoá mới quen được rất nhiều người tốt học được nhiều điều hay. Nhật Bản đã cho mình nhiều cơ hội phát triển bản thân và trưởng thành. Ở đâu cũng có nhiều mặt tốt và mặt xấu nơi đây không phải màu hồng nhưng nó xứng đáng để mình nói lời cảm ơn. Cảm ơn Nhật Bản. Cảm ơn những người bạn tốt mà mình đã được gặp. Rất vui vì đã được gặp mọi người.



浴衣姿でピザづくり

(本人和訳) こんにちは、みんな 私の名前はベトナム出身のマイ・タン・ユエンです。現在、私は愛媛県に住んで働いています。今年の8月にベトナムに戻り、5年間の異国での旅に終止符を打ちます。過去5年間、私は日本という国と人々を探索することで、新しく興味深いことをたくさん学びました。新しい文化についてさらに学び、たくさんの良い人たちに会い、たくさんの良いことを学びました。

日本は私に自分自身を成長させ、成長する多くの機会を与えてくれました。ここには良いことも悪いこともたくさんあり、バラ色ではありませんが、ありがたいと言うのは値します。ありがとう日本。私が出会ったすべての良き友人に感謝します。皆さんに会えて嬉しひです。



◇教区スケジュール◇

- 7月
  - 1日 (土) 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
  - 2日 (日) 年間第13主日
  - 3日 (月) 聖トマ使徒
  - 9日 (日) 年間第14主日
  - 11日 (火) 司牧者懇談会
  - 16日 (日) 年間第15主日
  - 23日 (日) 年間第16主日
  - 25日 (火) 聖ヤコブ使徒
  - 30日 (火) 年間第17主日
- 8月
  - 6日 (日) 主の変容 日本カトリック平和旬間 (15日まで)
  - 8日 (金) 聖ドミニコ司祭
  - 12日 (土) 下田武雄師命日
  - 13日 (日) 年間第19主日
  - 15日 (火) 聖母の被昇天
  - 20日 (日) 年間第20主日
  - 24日 (木) 聖バルトロマイ使徒
  - 27日 (日) 年間第21主日 佐々木光雄師命日

教区報バックナンバーのご紹介

高松教区のホームページには、フルカラーの教区報を掲載しています。右のQRコードからご覧下さい。



(前ページより)  
 ました。日本人は皆、忙しい人が多くて、例えば子供たちも日曜に行事や色々な用事がある事が多いのです。そんな事情もあり、毎週子供たちと一緒に教会に行く事は難しいのですが、教会に娘たちを連れて行く時はとても嬉しく思います。

私は木材の家具、建具を作る職人です。イタリアの父から仕事を学び、来日前にはオーダーメイド家具を作ったり、ウッドサッシを作ったりしていました。こちらに引っ越して来てからも、その仕事を続けています。

趣味は音楽を聴くことや読書などです。好きなスポーツはF1です。また、時間のあまる時には子供たちと自転車に乗って公園に行く事が最高に楽しいです。

私の故郷はイタリアの中でも北部、ベネト州にある小さな村です。村の名前はスミエゴと言います。イタリアではどの町にもある様にスミエゴ

にも教会があります。実家はちょうど教会の手前にありますので、幼いころからよく通っていました。日本に来てから家の近くにカトリック教会がある事を知った時はとても嬉しかった事を覚えています。そして、カトリック丸亀教会コミュニティの一員になり、長い年月が経ちました。これからどうぞよろしくお願いたします。

**桜町教会**  
 ベトナム青年たちの2023年サマーキャンプ 素晴らしい時間でした！

桜町ユース「愛すること、奉仕すること」。これは桜町教会のベトナム青年たちが選んだスローガンです。他の年もそうでしたが、夏になると毎年私たちはグループで一緒に帰国して、一日を過ごします。その目的は、私たちが一つの家族の精神で結ばれて、神と教会への信仰と愛が強められることです。

2023年6月18日、私たちは女木島にデイキャンプに行きました。多くのベトナム人青年が集まり、楽しいひとときを過ごしました。そこには日本人の若者たちも参加していました。参加した若者は45人。ベトナム人だけでなく、日本人もいたというのは素晴らしいことでした。まさに一緒に遊び、一緒に学ぶ、一緒に分かち合う国際的コミュニティのように。愛と喜び、そして宗教さえも分かち合う雰囲気は、本当にとっても意義深いものでした。グループにはカトリック信者でない人もいました。しかし、それでも私たちは霊においてひとつでした。私はある若い日本人男性にとっても感動しました。彼はカトリックではありません。彼は私に近づき、こう尋ねました。「シスター、もし一緒に参加してもいいですか?」。私は「もちろんです。いつでも大歓迎ですよ」と答えました。彼はとても喜びました。

そうです。これがイエスの弟子であるためのひとつの方法です。喜びと愛が分かち合われ、他の人々に広がる時、それはイエスが宣べ伝えられたことになるのです。神が私たちに注いでくださるすべての素晴らしいものに感謝します。

できれば、このような姿勢がこれまでと同じように小教区の皆さんと分かち合われ、受け継がれ、教会が、わたしたちが異なる文化から学び、経験し、互いに若さと知恵を交換する場となることを願っています。私たちがこの桜町教会に集めてくださった神様に感謝します。いつも感謝しています。

神がいつも私たちを祝福してくださいますように!!  
 (下段コラムに原文)

地区・ブロックの話題

西讃ブロック

観音寺教会でのマリア祭

山口知恵子

5月28日聖霊降臨の日に、観音寺教会では盛大にマリア祭が行われ、ごミサの前にベトナムの若人たちが手作りの花籠をもって、音楽に合わせ祝いのダンスとお花を捧げ、続いて他の国の方々、私たちが参加者全員一人ひとり、生花を持ってマリア様のご像の前で祈りとお花を捧げました。

続いて聖霊降臨のごミサが行われ、その中でお二人の洗礼式がありました。幼児洗礼の前田みつき(ルカ)ちゃん と大人の三好猛夫(ゼフィリノス)さんです。久々に若い力が小さな教会に加わり、喜ばしい限りです。今までもいろいろ教会の仕事を積極的にしてくださっておりこれからは益々、神様の恵みのうちに歩み続けられますよう念じてお祈りします。

ごミサの後、聖霊降臨と洗礼をお祝いして、久しぶりに皆でベトナムのお菓子とアイスクリームで乾杯!和やかなひと時を過ごしました。

蛇足ながら翌日29日は幼稚園のマリア祭がありました。



SAKURAMACHI YOUTH: "LOVING - SERVING". This is a slogan of the Vietnamese Youth in Sakuramachi Church has chosen. As other years had passed, every Summer time, we usually organized one day outing together as a whole group. The purpose is unite us in one family spirit and strengthen our Faith and Love for God and the Church.

On June 18/2023 we all went to Megijima for a Day Camp. It was a joyful time when many Vietnamese young being together. Moreover there were some Japapanese young also joined with us. There were 45 young people has joined. It was amazing because not only Vietnamese but beside that Japanese also has joined. Just like an international community being together, playing together, learning together and sharing together. The atmosphere of sharing Love- Joy and even religion to one another vastly meaningful. In the group there were some of them not Catholic. But still we are one in Spirit. I was so touched by one of the young Japanese boys, he is not Catholic. He approached me and asked: "Sister, if there is another gathering next time, may I join together?" I answered: "Sure, you are always welcoming". And he was so happy.

Yes. This is one way of being disciples of Jesus. When the joy and love being shared and expanded to other people, it is succesfully Jesus be preached. Thanks God for all wonderful things that He has shower upon us.

Hopefully, this attitude continue to be shared and recieved from and with our parishioners in the Church The place we will learn and experience from different cultures and exchange youngness and wisdom from one another. Thanks God for gathering us here in this Sakuramachi Church. Always be grateful.

MAY GOD BLESS US ALWAYS!!



上段II 幼稚園マリア祭